

あたらしい取組み特集

じぶんの町を良くするしくみ。

～共同募金 × 子ども食堂～

10月1日から
12月31日の間、
赤い羽根共同募金に
ご協力いただき、
ありがとう
ございました!



福岡県共同募金会久留米市支会は、上津校区分会と一緒に共同募金運動への理解を深めるための取組みを行いました。

上津校区では毎月、子ども食堂が開催されています。8月に開催された子ども食堂では、10月から始まる共同募金運動に向けて、〇×クイズや募金箱の飾りつけを行いました。

クイズは久留米市や上津校区、共同募金についての問題を出し、楽しみながら共同募金を理解してもらうことが目的でした。共同募金について学んだ後に募金箱の飾りつけを行い、子どもたちは色を塗ったり、シールを貼ったり、自分で絵を書いたり、思い思いに取り組んでいました。グループそれぞれの個性が出ており、中には赤い羽根でいっぱいになった募金箱も!

この募金箱は上津校区にある工務店に作製していただいたものです。また当日は祐誠高校の学生の皆さんにも一緒に取り組んでもらい、多くの人の協力により実施することができました。子どもたちの手によって完成した募金箱は、共同募金の期間中、祐誠高校や久留米工業大学等に設置し、文化祭でも協力を呼びかけるなど、PRにつながりました。

子ども食堂の最後に「共同募金はいつから始まるでしょう?」と問いかけると、「10月から!」と元気よく答えてくれる子もあり、クイズや募金箱の飾りつけという体験を通して、赤い羽根共同募金について知ってもらう良い機会となりました。



会場を広々使って〇×ゲーム



久留米工業大学に設置された募金箱

#はーとふる 企業 × 社協

～久留米ガス ver.～



こちらでは、久留米ガス主催「久留米ガス2025ガス展 くらしフェス」での取組みをご紹介します。

久留米ガス様とは、日頃よりフードドライブ活動や物品寄付などの協働から、「顔の見える関係」となっています。

今回はこのイベントに、福祉への理解を深める取組みの一環として、子どもから大人まで幅広い世代に対して、「福祉に関心をもってもらう」「市社協を知ってもらう」ことをテーマに、『クイズコーナー』と『フォトスポット』の2つを出展しました。

クイズコーナーでは、「社協はなにしているところと思う?」「これが答えかな?」と家族や親子で考え、市社協に関心を寄せてくれました。フォトスポットでは、親子や夫婦、お友だち同士で写真を撮っていたりと、市社協職員も楽しみながら1日を過ごすことができました。

また、フォトスポットには、ハート型のふせんに「あなたのしあわせ」を記入してパネルに貼ってもらいました。たくさんのしあわせがあふれ、福祉への理解が深まるきっかけになったように思います。

今回のイベントに際し、お声かけいただいた久留米ガスのみなさま、ご協力いただいた市内外の関係団体の皆さまに心より感謝いたします。ありがとうございました。

ご来場いただき、お立ち寄りいただいた皆さまの、「ふだんのくらし」につながることで、市社協も「しあわせ」です。



Instagram投稿